



学校だより

令和6年度12月号

文教大学附属小学校

<http://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>

「心の知性」を育む！

EQ: こころの知能指数を伸ばす読書

～豊かに読書する子どもたちに想う～

校長 島野 歩



師走。早いもので令和6年も残すところ1か月となりました。
校庭の桜の葉が美しく色づきハラハラと落ち始めました。

過日11月25日の日本教育新聞で以下の記事を目にしました。
「小学生の読書量、過去最多。(学校図書館協議会調べ)」
1か月に読んだ本の冊数を尋ねたところ、小学生の平均は13.8冊
前年度比で1.2冊も増えていたそうです。

そこで本校ではどうなのだろうと調べましたら、さすが図書館を
真ん中に据えた文教大学附属小学校の子どもたち！！一番多い
学年で平均にして1か月約18冊の本を読んでいた。

近年、世界的にIQ以上にEQが注目されています。

EQ: Emotional Intelligence Quotient、心の知能指数と
呼ばれるものです。まさに、EQの力を育てる最適な手段が読書で
あると言われています。図書館を子どもたちの真ん中において
12年間、読書を重ねることで子どもたちの姿は変わってきました。

校舎の真ん中に本がある

心温かな日々



【読書を重ねることで変容していく子どもの姿】

「学びに向かう力」

小学校から中学・高校・大学、さらにその先へと歩み
を進めていく中で学ぶべきことはどんどん増えて
いきます。だからこそ、小学校のうちにしておきたい
ことは、「学びに向かう力を身に付けること」。
これまでたくさんの本を読んできたという心の
拠り所があるからこそ、読むことに苦手意識をもつ
ことなく、安心して挑戦し、世界を広げていきます。

「言葉を使いこなす力」

本を読んで登場人物の言葉に触れ
たり、対話を目にしたりする中で、
言葉の使い方は磨かれていきます。
本を読むことで、語彙力が伸びれば
同時に、思考の世界も広がって
いきます。

「EQ(心の知能指数)」

近年、IQに代わって評価の主軸になりつ
つある指標、それがEQ、心の知能指数で
す。EQが高い人は、自分の感情を把握し
コントロールできるだけでなく、周囲の人
の気持ちも理解し、接することができる
と言われています。まさにEQの力を育て
る最適な手段が読書です。

本を読んでいるときの子どもの心は、大きな翼を広げています。羽ばたけ、心の翼！
あらためまして、年の瀬に際し、保護者の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

田園調布郵便局見学へ！

2年

11月8日(金)2年生が生活科の学習で、田園調布郵便局を訪れました。

今まで何気なく手にしていたお手紙やお葉書が、たくさんの働く方やプロセスを経由して、自分の手元に届くこと。たくさんの「気づき」のきっかけとなった学びでした。

この学びを活かして、今度は本校をステージに2年生が中心となって「文教郵便局」を開局します。12月2日がスタート！たのしみです！2年生郵便やさん、よろしくね！

お手紙を出してから相手に届くまで、もしくはその逆もそうですが、社会のしくみを知ることは、子どもたちにとって、ブラックボックスを開けるがごとく、全てが驚きと発見に満ちています。

子どもたちの「学び」の姿を見るたびに、「学ぶことは楽しいことです」を実感します。

これからも、そのような「学び」を創っていきたいです。



◆授業参観:保護者の皆様からのアンケート (10月10・11日)

お声をお寄せいただき心から感謝申し上げます◆

～保護者の皆様の声・声・声(一部抜粋)～たくさんのお声をありがとうございます。

*本来であれば、いただいたお声を全て掲載させていただきたいところではございますが誌面の関係上、大変申し訳ございません。しかしながら、いただいたお声は、全教職員と全て共有させていただき、今後の教育活動に活かしていくべく検討してまいります。

お声を寄せてくださいましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

○毎日「楽しかった」と言って帰ってくる意味がわかりました。

先生方の一人一人に対する声かけが、優しさにあふれていて、この学校に入ることができて本当に良かったと思えました。

○休み時間、1年生の教室に6年生がたくさん遊びに来て、1年生をおんぶし遊んでくれていました。中には、一人で二人をおんぶしてくれている子もいましたが、危なくないように他の子が支えてくれていて、おろすときも頭を打たないように配慮してしっかり支え、おろしてくれました。感心しました。5年後に成長して、優しく楽しく遊んでくれた上級生たちのようになってほしいなと思います。そんな子どもたちが育つのも、先生方のお背中を見ているからだと思います。いつもありがとうございます。



○1日目、2日目とも、子どもたち全員の発表や発言があり、クラスの中での朗らかなやりとりと、一人一人が楽しく考えながら学習できるように、たくさんの工夫をしてくださっていることがよくわかりました。学校が楽しいと家でもいつも話しております。

○英語や算数などの個人差がつきやすい科目では、先生が2人体制で見えてくださることにより、児童に細かく目が行き届いていると思えました。授業も児童が飽きないように工夫されており、とても楽しそうに授業を受けていました。

●文教小学校の良い点だと思えますが、どの教室からも元気っぱいの声が聞こえており、楽しく学習している様子が伝わってまいりました。静かな授業も良いのかもしれませんが、ワイワイしながら授業を行うのが、我が子には合っているとあらためて思いました。英語の授業はオールイングリッシュでも良いと思えました。⇒「自分の考えをしっかりとち、それを表現していくこと、他者の意見を受け入れ高めること」が本校の授業づくりの軸ですが、そのことを受け止めてくださっている保護者様のお気持ちがとても嬉しく思います。英語についても、貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘の通りだと存じます。一方で、オールイングリッシュを心がけつつも、実態に合わせて柔軟に日本語も取り入れながら「楽しい英語授業」に努めてまいります。

○中休み最後の10分に始まったマラソンには驚きました。日頃より子どもたちの体力づくりのための取り組みを推進していただき、本当に有難いと思えました。

●個人ロッカーの扉がなく、散らかって見えました。⇒①児童の安全上の配慮から ②個人個人で整理整頓する意識を身に付けさせる 以上2点の観点において、この4月から取り外したロッカーの扉です。まだまだ指導不足の点、至らずに申し訳ございません。今後も継続して自分のものは自分で責任をもち整理整頓していける力をつけてまいりたく存じます。

○STEAM-BのBEE SCHOOLでは、現場の方からの臨場感あふれるお話と実際にミツバチの生産物を見て触れて試食もして・・・とても興味深く学ぶことができました。普段の授業もちろんですが、STEAM-Bも今後楽しみな授業となりました。

○歯みがき指導の授業では、口の中にたくさんの菌がいることを知り、歯磨きを丁寧にするようになりました。

●初めて休み時間からマラソンの流れを見ました。子どもたち一人一人がそれぞれのペースで一生懸命に走り、最後の1分程の全力疾走に驚きました。タイトなスケジュールの中先生方も一緒に走られていて感謝いっぱいです。そんな中、マラソンの曲が終わると急にスピードを落として下駄箱に向かい、クラスによっては移動教室のため、あわてて教室に向かう様子も見られました。走り終えた後、1周程でも歩いて心拍数を徐々に落とすことが必要なのではないかと思います。⇒貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘いただきましたこと、その通りと思います。子どもたちの生命にかかわる大切なこと。すぐに改善してまいります。今後のマラソンでは、走り終わったあと、歩いて呼吸を整えた後に教室に入りたいと思います。ご指摘に感謝申し上げます。

●御校指定のJESシューズ（上履き）。箱を見ますと「リサイクルシューズ」と書いてあり調べてみましたら、ゴム底だけリサイクルが可能だそうです。（毎年東京ドーム3個分捨てられているそうです。）リサイクルは個人ではなく学校を通してだそうで、もしリサイクル回収をしていただければエコロジーだと思います。ご検討いただけましたら幸いです。）⇒なんて素敵なお意見なのでしょう！ありがとうございます。そして、学校として上履きをご提供しながら対応が遅く申し訳ございません。業者の説明では、リサイクル活用は以前は実施していたものの、現在は行っていないとのことでした。残念です。しかしながら、このたびのご提案に深く感謝申し上げます。

○生き物に普段から触れ合える理科室の環境は、とても良いと思いました。

○JAXAの授業とても良かったです。先生方のお力添えがあり、児童がお手紙を書いて実現したということが素晴らしいです。このことは、他の児童にも良い刺激になったと思います。お話も面白く、宇宙好きの児童でなくても興味をもてる工夫を感じました。こうして児童のやりたいことが形になっていくことがとても素敵です。

○6年生になり、残り少ない学校生活を大切に過ごしていると感じました。「あいさつを心がけたい」と言っていたので、周囲を見て行動できるようになったと感じています。

～学校公開アンケート結果～ 回答数 302/329 回収率 91.0%

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1 お子様は、意欲的に学習に取り組んでいる。 | 94. 2p |
| 2 お子様は、学級でまとまって楽しく活動している | 95. 7P |
| 3 お子様は、あいさつなどの礼儀を身に付け落ち着いている。 | 94. 1P |
| 4 教師は、授業展開を工夫し、学力向上の努力をしている。 | 96. 1P |
| 5 作品や掲示物が工夫され、学習環境が整っている。 | 97. 9P |
| 6 教室は整理・整頓され、廊下などの清掃が行き届いている。 | 98. 4P |

◆集計方法:4:そう思う(100P) 3:ややそう思う(75P)
2:あまりそう思わない(25P) 1:思わない(0P)

12月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
1	2 避難訓練 2年 文教郵便局	3 3・4年 Tokyo Global Gateway	4 4年 車いすバスケ講習	5 6年 モバイルプラネタリウム	6	7 伝統芸能鑑賞会 (西遊記) 第10期オーストラリアオリエンテーション
8	9	10	11 3年 スコットランドの文化を学ぶ会	12 * 12日より8時程	13	14 父母の会講演会 (石川 尚子氏)
15	16	17	18 5年 お正月飾り作り	19 終業式	20 餅つき(6年)	21 6年 冬季補習5日間
22	23	24	25	26	27	28



12月の生活目標

重点目標 <文教っ子ハケ条 第七条 困っている友達に進んで声をかけることができること>

- ◎ 言葉づかいに気をつけよう
- ◎ 進んで仕事をしよう

- ・ 相手を思いやった言葉づかいをする。・丁寧な言葉づかいをする。
- ・ 係や当番、委員会の仕事を進んでやる。

日頃の言葉づかい見直してみましょう 〈文責：教頭田中 宏一〉



少し思いうかべてみてください。相手を思いやった言葉づかいとはどんな言葉でしょうか。一言一言声に出す前に考えて、ていねいに話せばいいのでしょうか。難しくなかなか自然にできるものではありませんね。ご家庭でも振り返ってみる機会としていただければと思います。

一つ例を挙げます。声が小さかったり、周りがさわがしかったりして、話している内容が聞き取れなかったことはありませんか。そんな時、どのように聞き直せばよいでしょう。「なに?」とか「え?」と聞き直しますか。「声が小さくて聞こえないよ。」「聞こえません!」と聞き直しますか。それとも、「ごめん、聞き逃しちゃった、もう一度言って。」といった感じになるのでしょうか。聞き方はいろいろあると思います。そこで、考えてほしいことは、相手を思う気持ちです。ひょっとしたら、相手は一生懸命に話している途中かもしれません。その時に「なに?」とか「え?」とだけ言われて話を切られたらどんな気持ちになるのでしょうか。相手は、一生懸命に話していればいるほど、良い気持ちにはならないでしょう。

ちなみに英語で聞き逃したときに、どういう言い方が調べてみたところ、こちらも、いろいろと言い方はあるようでしたが、Sorry?やExcuse me could you repeat that. と言うようです。どちらにも「(聞き逃して) すみませんが。」という気持ちが入ります。聞き逃してしまうことはよくあることです。もう一度言ってもらうことは決して悪いことではありませんが、相手の言い方が悪かったように聞こえてしまう「なに?」「え?」という一言では、済ませないようにしたいですね。2学期のまとめの、12月です。言葉づかいにも、気を付けて2学期のまとめをしてください。

車での送迎につきましてのお願い

日頃より、車での送迎につきましては、ご協力いただきありがとうございます。朝、子どもたちの元気なあいさつが、一日のスタートを気持ちよくすることができます。またこのところ、送迎に対するご近隣からの相談のお電話もありません。何度ものお願いになりますが、引き続きまして送迎の為の停車の際、交差点近く、玄関前、小学校の白いフェンスの横には停車をご遠慮していただきますようよろしくお願いいたします。

子どもたちも、保護者の皆様も、ご近隣の皆様も、皆さんが気持ちよく毎日を過ごせますように、引き続きのご協力をお願いいたします。